

## 外道の宋氏のための一戸建て住宅

### ■ 設計: 建築設計事務所“美しい家”

#### ■ 概要

- 一敷地位置: 済州特別自治道 済州市 外道 1 洞 418-4
- 一地域地区: 準住居地域
- 一敷地面積: 457.4 m<sup>2</sup>、一建築面積: 153.72 m<sup>2</sup>
- 一構造: 鉄筋コンクリート構造、一外部仕上げ材: テラコッタ、粘土ブロック、アスファルトルーフィング

#### ■ 作品概要

伝統的に済州の住宅は、低い地帯に位置すれば、幸せが家に入り込むと信じてよく使われた配置方式を取った。しかし、済州地域に雨が多いため、多くの道路が舗装されるなど地形の変化が多く、このごろ周辺より高く建物を建てたいと希望する要求が多い。済州市内の外道地域に住む宋氏のための住宅の場合も、多少高そうに考えたが、1階の床を路面より1.5メートル高くするように要求された。現場をみて、東側に隣接した敷地が1メートル高く、これを考慮すると、建築主の要求は正しいと思った。敷地の形に合わせた建築設計において最も難しかったことは、南北に沿った長い形態の敷地であったため、南側の採光に有利ではない状況であった。住居空間は、南向きの採光が重要であると思い、幅の狭い敷地に南側の採光を取り入れられる空間構成をどのように作るかが、最大の悩みであった。アイデアは、居住空間と居間の空間を分離し、それらの空間をすべて南向きに配置することであった。このような提案は無理なく受け入れられ、それらの空間の間にどのような空間として計画すべきかが平面計画の主な設計のポイントであった。